



《将来に向けた取組方針》

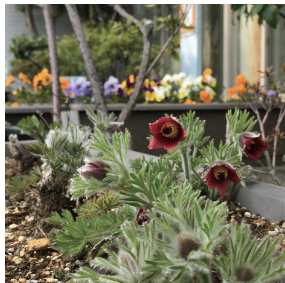
古河電工グループ環境基本方針及び行動指針に「全ての事業活動が与える生態系への影響を評価し、生物多様性の保全と持続可能な資源利用に努めます」を掲げ、古河電工グループ 生物多様性保全ガイドラインをもとに活動しています。

古河電工グループ 生物多様性保全ガイドライン

- ① 事業活動が及ぼす生態系への影響を評価し、有害な影響の最小化と有益な影響の最大化を図る
- ② 持続可能な資源利用と生物多様性保全のために、気候変動対策、省資源、再資源化の推進及び環境負荷物質の削減をこれまで以上に配慮する
- ③ 地域社会と連携した生物多様性の保全活動を実施する

〈具体的取組み事例〉

- 古河電気工業(株) 主要3事業所における絶滅危惧種「オキナグサ」育成活動 (2015年度～)



横浜事業所



平塚事業所



千葉事業所

- 古河精密金属工業株式会社における生物多様性保全活動



古河の森植樹活動 (2019)

- Furukawa Electric Autoparts Philippines Inc. (FEAP)(フィリピン)における生物多様性保全活動



カリラヤ湖周辺での植樹 (2015)